

様式第2号

令和5年度 門真市立市民公益活動支援センター
指定管理者総合評価

【評価対象年度】：令和4年度

施設のサービス水準の視点コメント

会議室やセミナー室、事務ブースなどの施設管理、NPO・ボランティアなどに関する情報誌（公益times）の発行、助成金や補助金などの有益な情報の収集および提供が行われた。
また、NPOや市民公益活動団体の支援や連携、企業や教育機関などとの協働コーディネート（マッチング）を行い、市民公益活動に係る人材の育成に努められたことを評価する。
今後も様々な分野での協働コーディネート（マッチング）に尽力されることを期待する。

収支状況 コメント

収入・支出ともにおおむね予算額と同額を計上しており、わずかではあるが、収入が支出を上回っていることから、運営は良好である。
しかしながら、光熱費高騰に伴う支援金の給付及び職員の途中退職による人員の減少が無ければ、支出が収入を上回っていた可能性もあったことから、来年度においては、本指定管理施設の基本協定書及び仕様書に基づいた事業実施を求めるとともに、収支バランスを重視した管理・運営を行っていただきたい。

感染症対策 コメント

令和4年度においては、新型コロナウイルスの影響はあったものの、会議室等の利用を制限する等の対応はなく、おおむね通常どおり運営し、広く市民へ施設を利用してもらうことができた。
昨年度に引き続き、利用後の会議室等の消毒、消毒液やパーテーションの設置、利用者名簿の運用など、新型コロナ感染対策に取り組まれた。
また、清掃業者による定期的な施設清掃を実施することで、市民が気持ちよく利用できることはもとより、新型コロナウイルス感染対策にもなった。
感染者が発生するなどの大きなトラブルがなく、1年間の施設運営を終えられたことについて評価する。

市による総合評価 コメント

公益活動を行う市民のスキル習得を目的としたパソコン教室・NPO入門講座や市民公益活動を担う人材育成へつなげていくことを目的としたセミナーなどを開催され、市民公益活動の活性化に貢献いただいた。
今年度においても、新型コロナウイルスの影響を受けながらも15件の協働コーディネート（マッチング）ができたことは、日々、多岐に渡る様々な相談に丁寧かつ柔軟に対応され、市民公益活動にかかる情報の受発信を行った結果であり、中間支援組織としての重要な役割を果たされたことは評価できる。
また、NPO法人の各種申請書類の相談窓口として機能し、法人設立に関する支援をいただいたことにより、今年度新たに1件のNPO法人が設立された。
アンケートについては、「施設の利用のしやすさ」で1件の「やや不満」との意見があるが、「職員の対応・態度」「総合的な満足度」においては、否定的な意見はなく、市民が利用しやすい施設となるよう心掛けができてしていると判断できる。
以上の理由により、概ね協定事項等の水準どおりに施設運営がされていると判断し、総合評価を「B」とした。

総合評価

B

総合評価区分凡例

- A：協定事項等を上回る水準で施設運営がされ、大変良好なサービスが提供されている
B：概ね協定事項等の水準どおり施設運営がされている
C：協定事項等の水準以下であった